

天文電報の話 (5)

(第12巻133頁より續く)

上 田 穰

ホー ル デ ン 臺 長 の 暗 號 (續き)

第 四 表 (語句暗號)

番 號	暗 號	暗 號	解
51000	babble	グリニツチ正平均時(日は正午より始む)にて——	
51001	baboon	該天體は <u>ボン掃天番號</u> BD——(赤緯+90°より0°まで)である。	
51002	badger	〃 〃 (赤緯 0°より-23°)	〃
51004	ballot	〃 <u>希望峰掃天番號</u> C.G.H (photographic)——	〃
51005	bandit	〃 <u>コルドバ掃天</u> Cordova (visual)——	〃
		注意 これ等の次に二つの數字記號が来る 第一 最初の數字の前置數は赤緯 (Zoneの)を表はし、それに従ふ 十位數は星の光度を表はす。而して 9.9は 9. ¹⁰ 8より微かなことを意味する様にす。 第二 その星の番號を表はす。 例へば <u>ボン掃天表</u> -13°4417 光度 9.6の星は次の如く表はされる譯である。 badger bitupate dodamope 13,96 4417	
51007	banker	該天體は——天文臺にて撮られたる乾板に寫つてゐる。	
		注意 勿論この言葉の次に天文臺の名前が来る筈	
51008	barber	該天體は——天文臺にて撮られたる乾板に寫つてゐない。	
51009	barley	該天體は <u>ドライヤー</u> の新一般表 N.G.C.——である。	
51010	barrel	該天體は <u>ドライヤー</u> の指示表 IC ——である。	
		注意 これ等の次に星の番號の數字が来る	
51012	barter	該天體は次の星より——秒(時)後にある。即ち赤經が大である。 (前置數を用ふ)	
51013	basely	〃 〃 ——秒(時)前にある。即ち赤經が小である。 (前置數を用ふ)	
51014	bashaw	〃 〃 ——分北にある。(十位數を用ふ)	
51015	basket	〃 〃 ——分南にある。(十位數を用ふ)	
		注意 比較星を次に與ふべし。精密位置を示す場合には「六語位置電報」の條参照	

51016	bathos	而して次の星より北一前にある。
51017	battle	〃 〃 北一後 〃
51018	bawble	〃 〃 南一後 〃
51019	beacon	〃 〃 南一前 〃
51020	beater	——に關しての位置は——
51021	beauty	位置角は——(度, 分を示す數字續く)
51022	beaver	その距離は——(角度の秒を示す數字續く)
51023	become	日運動はその方向大き共に不明。
51024	beetle	彗星(或は天體)の日運動は北と西に向つてゐる。
51025	beggar	〃 〃 北と東 〃
51026	behave	〃 〃 南と西 〃
51027	behest	〃 〃 南と東 〃
51028	behold	赤經に於ける日運動は(時間の秒にて)—— 注意 この次に常に八文字群の數字來る。しかしして50999sより小なる答。
51029	behoof	北極距離に於ける日運動は(角度の分とその十分の一にて) 注意 常に八文字群の數字來る。これはいつも 5099.9 よりは小なる答。
51033	belong	彗星 a の軌道要素は——
51034	bemoan	〃 b 〃
51035	benign	〃 c 〃
51036	bestir	〃 d 〃
51037	betake	〃 e 〃
51038	betray	〃 f 〃
51039	better	〃 g 〃
51042	beyond	彗星 a の豫報位置は次の如し。
51043	bicker	〃 b 〃
51044	biffin	〃 c 〃
51045	billet	〃 d 〃
51046	billow	〃 e 〃
51047	binder	〃 f 〃
51048	bisect	〃 g 〃
51051	bobbin	彗星 a の軌道要素並に豫報位置次の如し。
51052	bodice	〃 b 〃 〃
51053	bodkin	〃 c 〃 〃
51054	bolter	〃 d 〃 〃
51055	bonnet	〃 e 〃 〃
51056	border	〃 f 〃 〃
51057	borrow	〃 g 〃 〃
51060	bounty	四日置き三回の豫報位置。

51061	boxing	〃 四回 〃
51062	boyish	〃 六回 〃
51063	brandy	〃 八回 〃
51064	brassy	八日置き三回の豫報位置
51065	brawny	〃 四回 〃
51066	breezy	〃 六回 〃
51067	brewer	〃 八回 〃
51068	briber	送附の軌道要素を——年第——彗星の要素と比較せられよ。 注意 この次に来る八文字群の数字は 第一 始めの四数字は西暦年数を示し 第二 最後の数字はその年に於ける彗星番號を示す
51070	broken	豫報を計算するに必要な赤道補助常數は次の如し。 注意 この次には常に七群の八文字記號が来る。最初の六つは次式に於ける a, b, c, A, B, C を示す。 $x=r \sin a \sin(A+v)$ $y=r \sin b \sin(B+v)$ $z=r \sin c \sin(C+v)$ それ等の角度は度(前置數にて示す)と分(十位數にて示す)にて與へられる。 第七群の数字は監査用のため、前の六群の数字の四分の一を表はす。 例 $a=81^{\circ} 21'$, $b=76^{\circ} 23'$ $c=16^{\circ} 20'$, $A=170^{\circ} 41'$, $B=262^{\circ} 17'$, $C=49^{\circ} 11'$ とせば broken 1. Foyaship = 08121 2. Fokation = 07623 3. Bokarine = 01620 4. Koreting = 17041 5. Pozamope = 26217 6. Dopahold = 04911 $\frac{1}{4}(65533)=16383=\text{Kitomous 監査記號}$
51071	brutal	これ等は次の如き橢圓軌道要素である。 注意 この次には二つの八文字群が来る筈で、最初のものは橢圓率(e)を小数第四位まで與へる、第二の数字は廻轉周期を年及び其の百分一で與へる。言ひ換へれば橢圓率は小数第四位の單位で、又周期は一年の百分の一を單位で示す。
51072	bubble	軌道計算の中央觀測位置の計算との差違(C-O), 但し黃經(λ), 黃緯(β)の何れにも+の場合
51073	bucket	〃 , 但し黃經(λ)にて+, 黃緯(β)にて-の場合
51074	budget	〃 , 〃 - , 〃 + 〃

51075	buffer	〃 , 〃 —, 〃 — 〃 注意 これ等の次には八文字群の数字記號が来る。その内最初の三数字は $\Delta\lambda.\cos\beta$ を後の二数字は $\Delta\beta$ を何れも分及びその十分の一を與ふ。 例 $\Delta\lambda.\cos\beta$ $\Delta\beta$ $(C-O) = -18.48 \quad -0.6$ buffer Lifadore 188 06
51076	bullet	觀測位置が豫報位置に對し大略次の如き差異を示す(C—O) 1. bullet の次に bubble と書き 注意 暗號欄に示す如く, bullet の直ぐ次に誤差の附號を示す暗號が來て, その次に八文字群の数字記號が來るのである。その十位數が赤經に於ける誤差を時間の秒にて示す。而して前置數が北極距離に於ける誤差を示し角度の分とその十分の一を與へる $\Delta RA +, \Delta N.P.D. +$ を示す 2. bucket として $\Delta RA +, \Delta N.P.D. -$ を示す 3. budget として $\Delta R.A. -, \Delta N.P.D. +$ を示す 4. buffer として $\Delta R.A. -, \Delta N.P.D. -$ を示す
51077	bunker	觀測との誤差(C—O)不明
51078	burden	天體の見掛けの様子は次の如くである—— 注意 この次に英語にて bright(明るし), circular(圓形なり), large(大なり)といった言葉を附加する。
51079	bushel	彗星——により發見せらる, 場所——, 時——
51080	buskin	明るい彗星——により發見せらる, 場所——, 時——
51081	bustle	甚だ輝ける彗星——により發見せらる, 場所——, 時——
51082	butter	微かな彗星——により發見せらる, 場所——, 時——
51083	byword	甚だ微かな彗星——により發見せらる, 場所——, 時——
51084	dagger	遊星——により發見せらる, 場所——, 時——
51085	damage	十三等より微かな遊星——により發見せらる, 場所——, 時—— 注意 これ等の次には三つの言葉が來る筈である 1° 發見者の名前 2° その場所 3° 第一表による三文字群の数字にて日附を表す (日は地方平均日にて正午より始める日を用ふ)
51086	damask	彗星——の乾板上にて發見せらる
51087	damsel	遊星——の乾板上にて發見せらる
51089	dapple	——週期彗星, ——によつて發見せらる, 場所——, 時—— 注意 この次には 1° 週期彗星の名称 2° 觀測者 3° 場所 4° 前述と同様な日附

51090	dawdle	或は彗星ならん
51091	dazzle	多分彗星ならん
51092	deacon	彗星にはあらず
51093	dealer	或は遊星ならん
51094	debase	多分遊星ならん
51095	debate	或は星雲ならん
51096	decree	多分星雲ならん
51097	deface	その彗星を搜索したるも、見出し得ず(51223を見よ)
51098	defect	その遊星 ク (51223を見よ)
51099	defend	何卒(水星、金星、等)面上の紋様を観測せられたし
51100	defile	遊星——上の一紋様がグリニッチ日附——に中央線を通過す
51101	deject	何卒——彗星の尾に於ける變化を寫真にて観測せられたし
51102	deluge	何卒——彗星の頭に於ける變化を観測せられたし
51103	dental	グリニッチ時——、火星表面の明き突出部明暗境界線に來る
51105	depict	本年に於ける出来る丈早い観測を何卒郵便にて送られたし
51106	deploy	本年に於ける成る丈け後い観測を何卒郵便にて送られたし
51107	depose	何れの観測にても宜しく郵便にてお送りを乞ふ

(續く)

平松閑月翁遺詠

水 野 千 里

1, 天 體 四 季

春。野に山にかゝる霞よ心して、夜はみ空の星なかくしそ。
 夏。てり續く晝の暑さも忘れけり、さやかに見ゆるみ星眺めて。
 秋。春雨や五月雨過ぎし秋の空、星見る友の世とはなりけり。
 冬。たへかたき霜も氷もよそにして、星眺めつゝ夜は更けにけり。

2, 星

夜あらし木々の梢はさわけとも、星の林は靜なるらむ。
 朝日さす空に輝くあか星の、西に光るそ年の星なる。
 敷島の道照る月ゆ我は尙、星さやかなる空をめてぬる。
 行越しつ遅れつ八つの惑ひ星、されと迷はぬ道はありけり。
 うは玉の闇こそよけれ大空の、數限りなき星の見ゆれば。
 寒さをも更るもしらす打あふき、夜すから星のみ名をときけり。
 大空にみちて輝く千萬の星、指しつゝ夜は更けにけり。
 照る月の影には消えてうは玉の、闇に輝く星の空かな。